

2026年1月8日

京都産業大学 広報部

『未来を語る研究者が集う』京都産業大学で交流会 『第1回 京都産業大学 産学研究交流会』を開催

京都産業大学は、学部や分野を越えた研究者交流を促進する「第1回産学研究交流会」を開催します。本学のワンキャンパスという特徴を活かし、共同研究のきっかけを提供し、将来的な産学連携や大学発ベンチャー創出を目指します。初回となる今回は、(一社)京都知恵産業創造の森などの産学連携支援機関も招き、学内研究者によるポスター発表を行います。

【本件のポイント】

- ・本イベントは、学部・専攻の枠を超えた「つながり」を重視し、将来的な大学発ベンチャー創出や地域産業との連携強化を視野に入れています。
- ・本交流会では、本学が産学連携を通じて実現した社会実装の成果の披露も予定しており、軽食も交え、カジュアルで実りある交流の場を提供します。
- ・2025年9月19日にスタンフォード大学とエルゼビア社が更新・発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出された研究者の「本橋健 教授」「板野直樹 教授」「金子貴一 教授」が出展予定です。

【開催概要】

- ・開催日時 2026年1月20日(火)14:00~17:00(受付開始 13:30)
- ・場所 京都産業大学 神山ホール 3階 第1セミナー室(京都市北区上賀茂本山)
- ・内容 学長挨拶、ポスター出展(研究者による発表あり)、研究機構長挨拶
- ・参加費 無料
- ・事前申込 不要

【注目の研究テーマ(一部抜粋)】

本交流会では、以下のような分野横断的かつ社会的意義の高い研究が発表されます。

- ・地域をケアする福祉コミュニティ形成と交流拠点の創出(日本・フィリピン・タイ・ベトナム)
- ・外国人家事支援人材に対する日本語学習サポートの現状と課題
- ・視覚障がい者が安全・快適にバーチャル・リアリティー(VR)空間を利用できる技術開発
- ・感性を工学的にモデル化する「人工感性」のコア技術開発、ウェルビーイング向上の支援
- ・美白成分の開発・色素異常治療への応用が期待されるメラニン生成の新たな機序解明
- ・乳がん細胞の「がん幹細胞性」を抑制し、抗がん剤耐性を弱める技術の開発

※これらの研究は、本学の研究の特色であるとともに、将来的な社会実装を意識した内容となっており、取材価値の高いテーマが多数揃っています。

本件に関するお問い合わせ先

取材について:京都産業大学 広報部

TEL:075-705-1411

第1回 京都産業大学 産学研究 交流会

学部・専門の垣根を
超えた繋がり

将来の大学発
ベンチャー創出

入場
無料

学内での
共同研究の発掘

2026
1/20 Tue.

14:00 ▶ 17:00

会場 神山ホール 3F
(第1セミナー室)

事前申込不要 軽食・ドリンクあり

本イベントの概要につきましては、こちらをご覧ください。
[https://www.kyoto-su.ac.jp/events/
event-001469.html](https://www.kyoto-su.ac.jp/events/event-001469.html)



プログラム

- 13:30 受付開始
- 14:00 学長挨拶
- 14:05 ポスターセッション
ピッチプレゼンテーション
- 16:55 研究機構長挨拶

 京都産業大学
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

京都産業大学 第1回産学研究交流会（2026年1月20日・火）出展者リスト 2025.12.1現在

No.	ポスター番号	氏名(敬称無 O=出席者)	所属先・職位(兼ね取、同一欄はエントリー)	ポスターのタイトル
1	E-1	要藤 正任	経済学部・教授	パネルデータを用いた一般的情報と市民参加に関する分析：ながしまスタイルからの知見
2	E-2	○ズベテリー コバー ミルカ 赤木 英夫 野崎 雅世 佐野 遼平	経済学部・助教 慶應義塾大学経済学部・教授 大阪経済大学経済学部・准教授 地元大学経済学部・教授	少子化時代の学校づくり：経済が子どもたちの学びに与える影響
3	B-1	松下 真也	経営学部・教授	漢式漢記と羽體概念の歴史的メカニズム
4	B-2	松本 和明	経営学部・教授	京都府綾部市域におけるフィールドワークおよび事例研究
5	B-3	西田 嘉平次	経営学部・准教授	大規模・高次元データにおけるノンパラメトリック因数推定量のスパース化
6	B-4	須賀 凉太	経営学部・助教	ハーンライゼーションがウェアラブルデバイスの機能面に与える影響
7	B-5	森口 文博	経営学部・助教	ピボット？ or 桧葉？ 一貫しいアイデアソンのカタチー
8	J-1	浦中 千佳央 ○田中 駿登	法学院・教授（社会安全・警察学研究所） 法学院・助教（社会安全・警察学研究所）	児童虐待事例の研究 警察の正確性研究
9	P-1	加藤 敦典	現代社会学部・教授	地域をケアする病院コミュニティの形成と 施設に関する認知研究・交流拠点の創出
10	P-2	鈴木 康久	現代社会学部・教授	水（河川・名水）の文化的特性
11	P-3	藤野 敏子	現代社会学部・教授	動的の社会学－ジェンダーと家族から読む日本の雇用システム
12	P-4	ポンサビタックサンティ ピヤ	現代社会学部・教授	アジアのメディア・広告・ジェンダー
13	P-5	滋野 浩毅	現代社会学部・教授	京都府綾部市との地域大学連携における成果と課題
14	P-6	山中 千惠	現代社会学部・教授	学生マンガを研究する
15	P-7	塙谷 秀也	現代社会学部・准教授	生成AIとの「個人的判断」がもたらす心理的変容の解明
16	R-1	鈴井 清巳	国際関係学部・教授	ボストン・ワールド時代の国際通商秩序： 地域社会の連携によるグローバルガバナンス形成の可能性
17	L-1	藤田 帝子	外国语学部・教授	18-19世紀の日本における古典復興に関する国際的研究 ー市ノルマニヨン所蔵『十書由合合抄』とそのWEBサイトについてー
18	L-2	○今西 利之 瀬辺 史央	外国语学部・教授 外国语学部・教授	外国人家庭支援人材に対する日本語学習支援の現状と課題
19	L-3	○瀬辺 史央 今西 利之	外国语学部・教授 外国语学部・教授	外国人スポーツ留学生に対する日本語教育支援の課題と展望
20	L-4	玉村 祐郎	外国语学部・教授	京都の文化資源としての宮脇美術館 ー転換と文化を読み解くー
21	L-5	田中 優子	外国语学研究科・博士前期課程	伝統国際帆船老舗の日本人由来の 日本創造論に対する意識の形成と家庭要因
22	C-1	大平 晴美	文化学部・教授	国語教育資料・古市データの校閲特有性： 意味連鎖の表記化支援と慣習格差の基正
23	C-2	井尻 香代子	文化学部・教授	世界文豪としての俳句
24	C-3	桑原 夏子	文化学部・准教授	地中熱から世界へ： 製油マリヤ歴史伝記の翻訳
25	C-4	美野 主太朗	文化学部・講師	京都における伝統文化の入り口としての サブカルチャー誕生の在り方についての考察
26	K-1	○中道 晶香 西原 奥輝 高島 栄生 福田 透菜 森川 邦博 森川 達光 松井 愛也 上坂 駿	共通教育推進機構・教授 理学部・4年次生 理学部・4年次生 理学部・4年次生 理化学研究所・研究員 カリフォルニア州立大学・修士課程 マイツック（本学卒業生） S.E.I.D.A. X（本学卒業生）	1/1 ゆらぎの起源と多様性
27	K-2	松尾 智晶	共通教育推進機構・准教授	対照と振りがりが自尊感情に与える影響 ー大学生における自分らしさと学びの実感に向けてー
28	S-1	齊藤 国譲	理学部・教授	非平衡系の物理学入門
29	S-2	小鹿原 一智	理学部・教授	最新研究から見えてきた火星のお天気
30	S-3	潤川 薫司	理学部・教授	機械化された石油封管とバルク半結晶材料作製
31	S-4	佐川 英夫 ○長谷川 廉 鶴谷 将人 木村 淳 高木 智子 土屋 史記	理学部・教授 理学研究科・博士後期課程 東北大大学理学研究科・助教 大阪大学大学院理学研究科・助教 北海道大学理学研究院・講師 東北大大学理学研究科・教授	木星衛星におけるアルカリ元素分布の観測： イオから他の天体への物質輸送と水素星の物質循環の理解に向けて
32	S-5	織方 勇太	理学部・准教授	曲線・曲直線と導群や材料科学への応用
33	D-1	伊藤 造之	情報理工学部・教授	人間情態学研究センターの活動について
34	D-2	笠置 恒	情報理工学部・教授	未経験の期間に満むマルチモーダルAIの研究
35	D-3	荻野 光大 ○池田 寧之介 上野浩大	情報理工学部・教授 先端情報学研究科・博士前期課程 先端情報学研究科・博士前期課程	人工知能(Artificial KANSEI)： 意象モデルを用いたウェルビーイング支援に関する研究
36	D-4	奥川 次郎	情報理工学部・教授	脳心・身情報の計測・解析と活用
37	D-5	平井 重行	情報理工学部・教授	実験住宅における行動計測・振舞技術とインフラクラウド環境の研究
38	D-6	○澤沢 力 林本 拓海	先端情報学研究科・博士後期課程 先端情報学研究科・博士前期課程	A.I.を活用したコンテンツ制作支援技術とその文化的背景 ー効果音合成および2Dアニメ着色ー
39	D-7	桜方 浩 ○張 浩東	情報理工学部・教授 先端情報学研究科・博士前期課程	A Muscle Training System Designed to Suppress Compensatory Muscle Use and Enhance Awareness of Target Muscles
40	D-8	桜方 浩 ○松川 幸翼	情報理工学部・教授 先端情報学研究科・博士前期課程	日本文化研究所設立30周年記念シンポジウムに向けた 「A.I.豊臣ちゃん」の開発
41	D-9	○中島 伸介 堀山 駿祐	情報理工学部・教授 先端情報学研究科・博士前期課程	視覚障がい者向けパリアフリーを目指したメタバース空間の開発
42	D-10	潤川 典久	情報理工学部・教授	センサネットワーク研究室での取り組み
43	D-11	東 遼	情報理工学部・准教授	快適性と安全性を両立するA.I.自動車走行支援システムに関する研究
44	D-12	伊藤 慶一郎	情報理工学部・准教授	5Gに資する市民参加型園芸ワークショップ
45	D-13	○安井怜 田中宏實	先端情報学研究科・博士前期課程 情報理工学部・教授	大脳皮質側小神経回路の信号計測と信号分離に関する研究

京都産業大学 第1回産学研究交流会 (2026年1月20日・火) 出展者リスト 2025.12.1現在

No.	ポスター番号	氏名(所属機関 ○=共同)	所属機関	ポスターのタイトル
46	A-1	寺地 徹	生命科学部・教授	オルガネラゲノムの改変による作物の品質改良
47	A-2	津下 英明 ○二宮 優季 竹内 七海 川野 雅司	生命科学部・教授 生命科学研究科・博士後期課程 東京農工大学大学院工学府・特任助教 東京農工大学大学院工学府・教授	二成分毒素の膜透過機構の解明
48	A-3	板野 直樹 ○櫻井 彩弥音 若本 駿音	生命科学部・教授 生命科学研究科・博士前期課程 生命科学部・客員研究員	乳がん細胞のがん幹細胞性を抑制する技術の開発
49	A-4	津下 英明 ○羽深 典之 飯田 淑子 西田 菜七実 安田 奥力	生命科学部・教授 研究機構・研究補助員 感染症分子研究センター・研究員 生命科学研究科・博士前期課程 生命科学部・4年次生	小麦由来の抗ウイルスタンパク質の効果と酵素活性について
50	A-5	○木暮 健 金子 貴一 川上 駿弘 河邊 昭予 木村 成介 西田 貴明 三根 由紀 寺地 徹	生命科学部・教授 生命科学部・教授 生命科学部・准教授 生命科学部・教授 生命科学部・教授 生命科学部・教授 生命科学部・准教授 生命科学部・教授	持続可能な発展の実現に向けた植物科学研究の展開
51	A-6	千葉 志信	生命科学部・教授	タンパク質合成功能の“組込み”を直すしくみ
52	A-7	○高橋 純一 三根 由紀 西田 貴明 中野 韶久 松島 佳子	生命科学部・准教授 生命科学部・准教授 生命科学部・教授 経営学部・教授 現代社会学部・教授	生態系サービス研究センターの社会実装への取り組み
53	A-8	加藤 啓子	生命科学部・教授	精神的・身体的脆弱性（フレイル）に先行する代謝活動機序の解明
54	A-9	○西田 貴明 三鬼 榮泰郎	生命科学部・教授 生命科学研究科・博士前期課程	S1Pグリーンインフラの社会実装研究
55	A-10	横山 雄 ○上田 梢華 西田 結衣 光岡 駿	生命科学部・教授 生命科学研究科・博士前期課程 本学卒業生 大阪大学細胞生産性研究センター・教授	創薬につながるV-ATPase の阻害剤結合構造解析
56	A-11	○高桑 弘樹 木村 仁哉 大西 野乃香 折戸 大輝 新田 遼予	生命科学部・教授 生命科学研究科・博士前期課程 生命科学研究科・博士前期課程 生命科学部・4年次生 高分子分子研究センター・研究員	マウス過疎HPN2型鳥インフルエンザウイルスの PB2タンパク質の変異がウイルス複製に与える影響
57	A-12	遠藤 斗志也 ○張 春明	生命科学部・教授 タンパク質動態研究所・研究員	Cryo-EM Facility/Support System at the Kyoto Sangyo University
58	A-13	高田 亮 杉澤 重美 ○朝井 実紅 和田 広太	生命科学部・教授 生命科学研究科・博士後期課程 生命科学研究科・博士前期課程 生命科学研究科・博士後期課程	メラニン産生律連酵素チロシナーゼの新たなタンパク質品質管理機構の解明
59	A-14	○武田 洋幸 池田 貴史 山中 朔人	生命科学部・教授 タンパク質動態研究所・研究員 生命科学部・学術特別研究員（P.D.)	小型魚類を用いて脊椎動物の発生、ゲノム・エピゲノムの普遍的原理を探る
60	A-15	三根 由紀	生命科学部・准教授	地域資源の活用を通じた持続可能な地域づくり
61	A-16	○中谷 定郎	生命科学部・准教授 生命科学研究科・博士前期課程	和歌山県海南市下津地域におけるランドスケープの変遷
62	A-17	杉澤 重美	生命科学研究科・博士後期課程	異常なタンパク質の分解を促進する局所領域の発見
63	A-18	小西 雄大	生命科学研究科・博士後期課程	ミトコンドリアの合成と健康維持
64	A-19	辻 泰緒子	生命科学研究科・博士後期課程	バクテリアはタンパク質合成功能を副センターとしても使う
65	A-20	佐野 浩太	生命科学研究科・博士前期課程	小胞体グルタチオン環境の変化と分泌タンパク質成熟の関係
66	A-21	鈴間 瑞南	生命科学研究科・博士前期課程	小胞体グルタチオンと退酸化水素とのレドックス環境クロストーク